

ふるさと応援寄附金(ふるさと納税)について!

■寄附をいただいた事業別一覧

事業名	寄附件数	寄附金額
豊かな産業のあるまちづくり事業	70件	1,105,000円
子育てと生きがい・健康長寿を支えるまちづくり事業	109件	3,110,000円
教育と文化のまちづくり事業	34件	2,445,000円
人と自然がいつまでも輝くまちづくり事業	74件	1,070,000円
安全・安心に暮らせるまちづくり事業	18件	280,000円
学生が活躍するまちづくり事業	10件	150,000円
公立大学法人都留文科大学関係事業	39件	760,000円
その他まちづくり事業	5件	70,000円
人のつながりを紡ぐまちづくり事業	8件	100,000円
合計	367件	9,090,000円

平成29年度のふるさと納税制度による寄附金は
367件
9,090,000円
でした。

多くの皆さまにご寄附をいただき、本当にありがとうございます。今後も、趣旨をご理解いただき、多くの寄附をお待ちしています。

■いただいた寄附の使い道一覧

事業名	使い道	充当額
豊かな産業のあるまちづくり事業	公農産物振興事業	1,105,000円
子育てと生きがい・健康長寿を支えるまちづくり事業	すこやか医療費助成事業	3,010,000円
	ママ・パパにやさしいまちづくり事業	100,000円
教育と文化のまちづくり事業	小学校管理事業(学校教育課分)	1,785,000円
	中学校管理事業(学校教育課分)	660,000円
人と自然がいつまでも輝くまちづくり事業	環境政策事業	50,000円
	環境保全対策事業	1,020,000円
安全・安心に暮らせるまちづくり事業	交通安全対策事業	280,000円
学生が活躍するまちづくり事業	学生アシスタントティーチャー事業	220,000円
その他まちづくり事業		
人のつながりを紡ぐまちづくり事業	男女共同参画推進事業	100,000円

※公立大学法人都留文科大学関係事業については、今後の大学関係事業に充てるため、基金への積立を行います。

ふるさと応援寄附金(ふるさと納税)の使い道についてお知らせします!

昨年度までにいただいたふるさと納税制度による寄附金は、平成29年度に実施された左表の事業に使わせていただきました。

平成29年度の財政状況を公表します

この公表は、地方自治法第243条の3第1項及び都留市財政状況の作成及び公表に関する条例の規定に基づき、市民の皆さまに本市の財政状況をお知らせすることによって、市財政についてご理解をいただき、市政の発展についてのご助言とご協力を得るため、毎年5月と11月に公表しているものです。

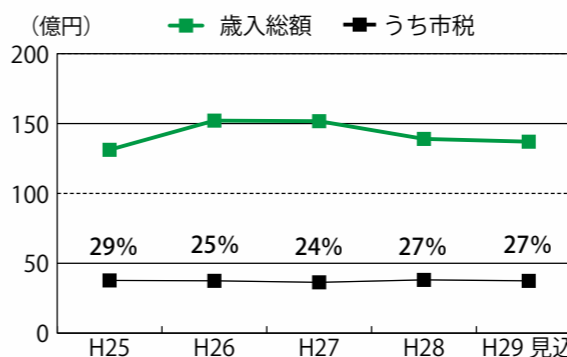
今回は、3月31日までの財政状況をお知らせします。

■平成29年度予算執行状況等(平成30年3月31日・単位：千円)

会計別	予算額 (繰越額含む)	執行額(見込み)		形式収支 A - B	翌年度に繰越すべき財源C	実質収支見込 A - B - C
		歳入A	歳出B			
一般会計	14,538,406	13,711,148	13,547,352	163,796	36,542	127,254
その他の特別会計	8,518,127	42,472,015	8,052,809	34,419,206	1,663	34,417,543

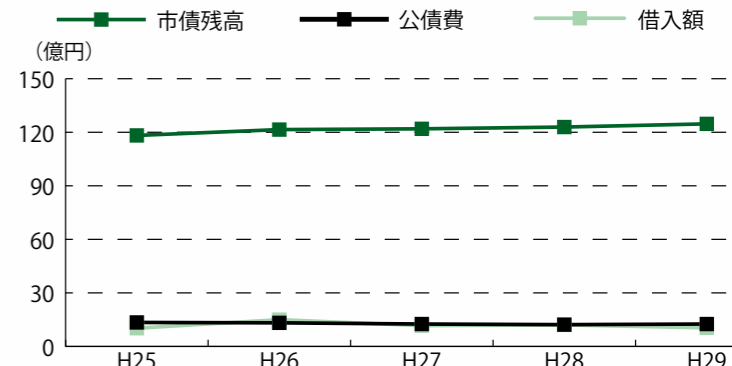
■市民負担の状況

平成29年度見込(千円)
歳入総額 13,711,148
うち市税 3,747,708

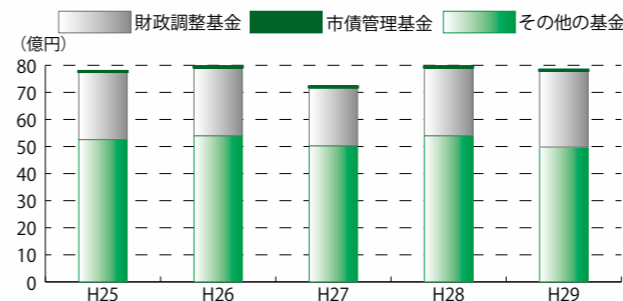


■市債の状況

平成29年度見込(千円)
市債残高 12,470,688
公債費 1,254,377
借入額 1,041,846



■基金の状況



平成29年度見込(千円)
財政調整基金 2,833,557
市債管理基金 7,055
その他の基金 4,980,688

■市の財産

土地	423万1,062㎡
建物	15万4,235㎡
有価証券	3,184万9千円

財政調整基金
健全な財政運営のため財政の著しい変動に備える積立金
市債管理基金
市債の償還及び適正な管理に必要な財源としての積立金
その他の基金
特定の目的のために資金を積み立てまたは定額の資金を運用するための基金

病院事業の業務状況

平成30年3月31日現在

地方公営企業法第40条の2の規定により都留市病院事業の業務状況を次のとおり公表します。

1 患者状況(病院)		2 入所状況(老健)		3 事業収益の状況	
	外来	入院	入所	通所	収入済額
上半期計	51,548人	14,549人	16,751人	1,221人	医療収益 年間計 2,296,017,017円
下半期計	51,834人	15,364人	16,093人	1,110人	介護老人保健事業収益 年間計 432,493,543円
年間計	103,292人	29,913人	32,844人	2,331人	事業収益年間計 2,728,510,560円

上水道の業務状況

平成30年3月31日現在

地方公営企業法第40条の2の規定により都留市水道事業の業務状況を次のとおり公表します。

1 水道料金の状況		2 給水状況		
	収入済額	配水量	1日平均配水量	有収水量
上半期計	124,256,815円	1,886,099㎥	10,306㎥	1,171,128㎥
下半期計	135,278,981円	2,069,338㎥	11,369㎥	1,223,793㎥
年間計	259,535,796円	3,955,437㎥	10,836㎥	2,394,921㎥

4月1日(日)に谷村第一小学校校庭において、平成30年度都留市消防団員辞令交付式が行われ、新役員101名、新入団員44名あわせて145名に辞令が交付されました。



平成30年度都留市消防団辞令交付式

- 谷村第二分団**
 - 分団長 高部仁志
 - 副分団長 志村利幸
 - 本部長 尾曲 章
- 東桂分団**
 - 副分団長 奈良直久
 - 本部長 藤江和一
- 宝分団**
 - 副分団長 奥秋博一
 - 副分団長 田辺利幸
 - 本部長 岩村健治

- 谷村第一分団**
 - 各部長 小林丈二・上条好人・藤江康太郎
 - 渡邊貴幸・田中 稔・土屋文博
 - 内藤崇行・藤原祐一・伊藤達哉
 - 猪狩孟史・細田浩一・粟澤拓海
 - 各部長 相川聡志・森嶋将太・羽田 龍
 - 上野佑樹・小林明彦・太田一成
 - 秋山英一郎・近藤修二・梅崎靖志
 - 深沢慎二・村上和也・舟久保 守
 - 各団員 堀内玲史・久保田健治・小林功卓
 - 天野 星・佐野洋介・上原裕司
 - 奥 明士・佐藤優次・鈴木 誠
 - 村松文貴・井上光一
- 谷村第二分団**
 - 各部長 志村将史・谷内夢規・新津一哉
 - 横山 実・柏木治郎・宮澤賢一
 - 鈴木裕貴・清水 淳・小林 敦
 - 各部長 藤本文明・志村侑亮・牛田勝也
 - 幡野桂二・程原 誠・志村嘉彦
 - 大津英明・直井俊祐
 - 各団員 志村晃暉・重森勇輝・落合真美
 - 小林 敏
- 東桂分団**
 - 各部長 梶原 勲・小林慎治・小俣賀史
 - 中谷高之・山口悟史・佐久間友和
- 宝分団**
 - 各部長 武井和彦・市川 賢・小林正和
 - 小林俊也・森嶋雅史
 - 各部長 高部和伸・市川晋一・田中栄男
 - 藤本和哉・渡邊和弘・森 匡史
 - 各団員 望月健太郎・内田裕太・天野優美
- 禾生分団**
 - 各部長 志村通孝・内藤浩行・平井武彦
 - 向山高司・長田哲也
 - 各部長 吉澤隆行・小俣一樹・小林一考
 - 久保田清文・天野隆太・梅沢恒二
 - 各団員 関戸朋也・土屋 聡・中村祐介
 - 小幡哲也・米山拓馬・板倉健義
 - 久保田 憲・樋貝佑介・藤本 敦
 - 小宮山みゆき・小林徳純・小澤初美
- 米山雅和・大関秀典**
 - 各部長 志村一樹・山本哲也・金子徳巨
 - 小俣光亮・西野尚樹・佐藤計仁
 - 佐藤和也・上杉晃一・佐藤祐介
 - 三枝英吉・渡辺健一郎・萱沼浩一
 - 日向 誠・小林 聖
 - 各団員 中野真吾・藤村尚弘・清水幸輝
 - 佐々木克也・黒部奈美・清水達記
 - 渡辺啓介・日原瑞貴
- 盛里分団**
 - 各部長 野武直記・安富順吾・天野隆行
 - 杉本哲司
 - 各部長 野武和浩・日向隆智・日向一仁
 - 根本浩和
 - 各団員 前田裕樹・佐藤靖恵・前田知子

小型動力ポンプ付積載車を貸与
3月20日(火)、小型動力ポンプ付積載車を谷村第一分団第2部(上町)、禾生分団第4部(小形山)に貸与しました。この積載車には最新鋭の高出力ポンプが装備され、火災の消火ばかりでなく、災害警戒活動や火災予防の広報活動など消防団員の要望に充分応えられるものです。



「生涯活躍のまち・つる」事業に伴う「下谷交流センター」の第1期工事が完了しました!



■完成した地域交流拠点施設

本市では、いつまでも元気できらめく人生を送れるようなまちづくりを目指し、『生涯活躍のまち・つる』事業を推進しています。
この事業の一環として、旧雇用促進住宅下谷宿舎(つる5丁目)をサービスキ高年齢者向け住宅として改修する『単独居住型プロジェクト』では、昨年より同敷地内に国の地方創生拠点整備交付金を活用した『下谷交流センター』を整備してきましたが、3月末に本体工事が完了し、平成31年度からの利用を予定しています。

下谷交流センターは市民の方々も広く利用できるよう、食堂や多目的ホールなどが入る施設となっており、サービスキ高年齢者向け住宅の入居者や移住者、地元住民などの交流の場としての役割が期待されます。
なお、平成30年度においてもサービスキ高年齢者向け住宅の改修工事(運営事業者)や交流センターの2期工事が行われるため、近隣にお住まいの方やお近くを通行される方には、引き続き大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。



■多目的ホール。入居者や移住者、地元住民などの交流の場として利用されます。



新しい地域おこし協力隊員が加わりましたので紹介します!



田川 信彦 隊員(41才)
※高収益作物導入事業(産業課所属)
東京都渋谷区から転入

前職 会社員
活動期間 4月1日から1年(最長3年間)

自己紹介

東京都渋谷区から参りました、田川信彦です。私は神奈川県で生まれ育ち、現在に至るまで調理師としてホテルや飲食店に勤めて参りました。
今までは食材を扱う身でしたが、調理を行う中で自分が扱っている野菜や果物はどのような方法で育てられたのだろう、どのような過程で育つていくのだろうと漠然とした農業に対する興味心がの内で大きくなっていました。

そんな中、都留市では、ほぼ栽培事例のない果樹の試験栽培に取り組みことを知り、まったく新しい農業を行うという試みにぜひチャレンジしてみたい、また、食材を一から作る農業を経験することで『食』に対する理解をもっと深めたいとの思いから、このたび地域おこし協力隊に応募いたしました。
最長3年間と長いようで短い任期の中で、都留市に定住できるように地域の皆さまと交流を深め、果樹栽培の基盤を築ければと思っています。至らぬ点も多々あるかとは思いますが、精一杯取り組んで参りたいと思いますので、どうぞよろしくお願います。普段は、道の駅近くのほ場で作業しておりますので気軽にお立ち寄りください。
また、夏狩に家族5人(中学生1名、小学生2名)で住居を構えていますので、顔を見かけた際にはお声掛けいただけましたら嬉しいです。

